

育児のちょっとアドバイス



日々の育児の中で、お母さんがほっとしたり、ヒントになるような言葉を、本の中から紹介していきます。

はじめての子育ては、親にとってもわからないことがいっぱい。

「どうしたらいいの？」と泣きたくなることも。

そんな時は、まわりの人に、「どうしたらいいの？」と試してみよう。

わからないことはちっともはずかしくない。

みんなきっと喜んで教えてくれるはず。 小林洋子

「はじめてママの赤ちゃんハッピー塾」より 小林洋子 著、大島清 監修
(PHP 研究所 2007年12月発行)

ほっと れもんていとは



温かな部屋で明るい陽射しをいっぱい浴びてほっと一息、

親子でのくつろぎや、遊びのひとつときなど、

それぞれのペースで自由にお過ごし下さい。

子育てがちょっと苦しいとき、大変なとき、

そんなときも ほっと れもんていをおたずね下さい。

同じ想いのお友達にめぐり合うこともできるかも知れません。

お話ししたいときはどうぞお気軽にスタッフへお声をおかけ下さい。

いつでもお待ちしております。そして心から歓迎します。



お越しの際は、あゆのこ保育園の駐車場をご利用いただけます。

台数に限りがございますので、ご了承下さい。



開設日： 月～金曜日

(祝日を除く)

開設時間：9:30～16:00

11:30～13:00 は
お休みとなります。

利用の際の予約や

登録は要りません。

開設場所：ほっと れもんてい

(あゆのこ保育園内)

13:00～15:00 は園庭で

お子様と自由に遊んで

頂けます。

ほっと れもんてい

(あゆのこ保育園内)

〒243-0032

厚木市恩名1丁目10番38号

電話・FAX: 046-222-6055

<http://www.ayunoko.ed.jp/>

ほっと れもんていは、

地域子育て支援事業拠点(ひろば型)

として厚木市より委託されています。

地域子育て支援拠点事業(ひろば型)

ほっと れもんてい

2008年 8月号 No. 8

ほっと れもんていの窓からは、夏空に向かってまっすぐ
に伸びる向日葵や、そんな暑さを少しだけ癒してくれるよう
な朝顔とほおずき。

そんな夏の日もゆっくりとお過ごしいただけるよう、いつ
でもお越しをお待ちしています。



育児のヒント

皆様の育児の参考にさせていただけたらと、『育児の
ヒント』を記載しています。

今回は、東京大学大学院教育学研究科教授/あゆのこ
保育園保育アドバイザー 秋田喜代美先生です。

赤ちゃん絵本

2000年の子ども読書年をきっかけに、赤ちゃん絵本をつなぐブックスタートという活動が始まり、赤ちゃん絵本も数多く出版されるようになりました。今では1年で200種類を超える赤ちゃん絵本がさまざまな出版社からでてきているそうです。厚木市もブックスタートに参加しているため、乳児検診時にブックスタートパッケージを受け取っておられるご家庭も多いと思います。私はこの活動を日本で立ち上げるためにイギリスにメンバーと共に訪問し理念や方針を決め、今も日本での普及活動に関わらせていただいています。幼児への読み聞かせと乳児と絵本を見合う活動は質も楽しみも違います。赤ちゃん絵本をわちあうことで親子のコミュニケーションを豊かにすることがこの活動の願いです。

最初のパイロット地区である東京都杉並区で、10ヶ月検診の時にパッケージを受領したご家庭200名に調査に協力をいただき、またさらにそのうち30組を3歳時までに継続して訪問し調査をさせていただきました。その中でわかってきたことのひとつは、ご家庭によってほぼ毎日読むご家庭(頻度高群)もあれば週1回程度や読まないご家庭(低群)もあるのですが、どの子どもも比較的似た発達過程を遅かれ早かれたどることです。

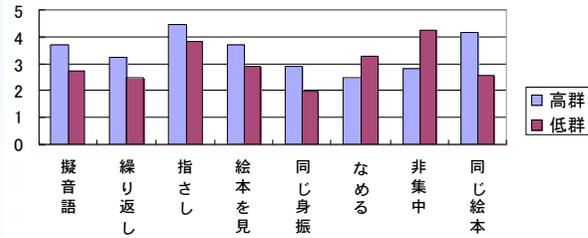


図4 読み聞かせの頻度と読み聞かせ時の子どもの行動

図はどれぐらいの行動が起きているかを18ヶ月で5段階で保護者の方に回答いただいて調べたものです。絵本を頻繁に見ているご家庭ほど同じ月齢でも子どもたちが本をなめたり、気が散る非集中が少ないことがわかります。しかしこの子たちもなめる時期や集中しない時期があり、

また2歳ころまでは先に頁をめくったり終わりまでは聞かない時期もあります。しかし一定の経験を踏むことで自ら指差しをしたり注意深く絵本を見たりできていくようになっていきます。そしてお子さんが集中してくると、親御さんも子どもの言葉や表情をよく見たり聞いて絵本と一緒に楽しむことができるようになります。頁を親子のどちらかがめくるのか、どのように指差しをしてお話しするか、どんな場所や姿勢で読むかにもそのご家庭の個性がありますが、読み終わると「おしまい」という言葉が2歳半頃になるとでてくるご家庭も多いようです。つまり、そのご家庭の持ち味の出した絵本の読みあい語り合いができてくるのです。乳児絵本では「子どもの表情を見るのが9割、絵本を見るのが1割」の気持ちが大切とよく言われます。絵本と出会うお子さんのすてきな表情をとらえ一緒に落ち着いたひと時をお気に入りの絵本と共に過ごすのが乳児絵本の秘訣です。パパの読み声、ママの読み声、そしてお兄ちゃんやお姉ちゃんなど同じ絵本でも誰と読むかで楽しみが数倍にもなるのが絵本のいいところですね。

東京大学大学院教育学研究科教授 秋田喜代美

食育メモ

自分で重い、熱い、大変などの体験をした子どもは、食べ物を「もったいなくて」簡単に捨てられないし、「こんなにおいしいから、おばあちゃんに食べさせてあげたい」と思いやりの気持ちも出てきます。必ず子どもの心の中の台所での思い出が、単に体だけでなく心まで育ててくれるのです。

「明日からの“子どもの食育”にすぐ役立つ本」(株式会社カザン 2008年)より

今月の絵本

「だいじょうぶ だいじょうぶ」

(講談社 2006年) 作・絵: いたうひろし

子どもの苦手なことに、必要以上に「頑張れ」と励ましてはいませんか? 必要なのは「頑張れ!」という励ましではなく、ただその不安な気持ちを受け止めてあげることだけで十分なのです。本当に頑張っている人にとって、「頑張れ」というのは、時に辛く、心に重くのしかかってしまうものです。「大丈夫」と言ってもらって支えて欲しい、受け入れて欲しい、という気持ちは、大人も一緒なのかもしれません。「大丈夫」という言葉は、大人にとっても子どもにとっても、温かくて安心する、まるで魔法のような言葉です。そっと手をつないで、「大丈夫」と唱えてあげることで、少しでも子どもが安心して過ごせるのかも知れません。

8・9月の予定



9/13の育児講座を除き、予約や申込みは
ありません。お気軽にご参加下さい



8月6日(水) 10:30~11:30

ミニ保健講座「熱中症に注意しましょう」

…保健師によるテーマごとのミニ保健講座と健康相談を行います。



8月15日(金) 13:00~14:30

毎月第3金曜日

ちょっとチャット ~テーマを決めたおしゃべり

会~

…湘北短期大学准教授 岡本依子先生と利用者によるおしゃべり会です。詳細はブログ「もうちょっとチャット」<http://ameblo.jp/ayucc> からもご覧頂けます。



8月21日(木) 11:00~11:30

ミニ育児講座「抱っこ大好き!」

…ほっと れもんてい担当保育士より、毎日の育児のヒントになるようなテーマでミニ育児講座を行います。



9月4日(木) 10:30~11:30

ミニ保健講座 「乳幼児期に多い事故について」



9月10日(水) 11:00~11:30

ミニ育児講座「あとで! って言わないで」



9月13日(土) 10:00~11:30

育児講座「育児の悩みあれこれ

~困っているのは私だけじゃない~」

(※要申込み。詳細は下記をご参照ください)



9月19日(金) 13:00~14:30

健康ひとくちメモ



皮膚はいろいろな役割を担っていますが、乳幼児期の子どもの肌は薄くて機能も未発達のため、外部からの刺激に弱く、特に夏は、あせもや虫刺されなど皮膚のトラブルが起こりやすい時期です。オムツ換えや入浴の際など日ごろから皮膚の状態をよく見るようにし、悪化しないよう注意しましょう。

あせも 汗腺に汗や汚れが詰まって炎症を起こすもので、汗のたまりやすい部位に細かい発疹ができて、チクチクした痒みがあります。清潔に注意しながら、かき壊さないようにしましょう。

虫刺され 虫に刺されたことによって赤く腫れたり水泡ができたりします。冷やしたり、かゆみ止め(市販のものでもよい)などを塗って、かき壊さないようにしましょう。

育児講座



「育児の悩みあれこれ

~困っているのは私だけじゃない! ~」

講師: 高木友子先生

(湘北短期大学保育学科准教授)

日時: 9月13日(土) 10:00~11:30

場所: ほっと れもんてい

日々、わがままな3歳の息子に手を焼いております。専門家でもこんなものです。参加者の皆さんのちょっと先輩ママとして、子育ての実態をお話したいと思っています。

※ 参加申込みはスタッフへ、あるいは電話・FAX、ホームページからも可能です。当日の保育(要申込み)もごさいますので、お気軽にお問い合わせ下さい。